

第2次宇都宮市国際化推進計画（素案）に関するパブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 意見の募集期間 平成 26 年 1 月 22 日 ～ 2 月 18 日 まで
- (2) 意見の応募者数 6 人 (男性 6 人, 女性 人)
意見数 23 件
- (3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	電話	計
人数			3	3		6

2 意見の処理状況

区分	処理区分	数
A	意見の趣旨等を反映し、実施設計に盛り込むもの	1
B	意見の趣旨等は、計画案に盛り込み済みと考えるもの	11
C	実施設計の参考とするもの	10
D	実施設計に盛り込まないもの	0
E	その他、要望・意見等	1
	計	23

① 外国人住民への支援について(2件)

意見番号	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方 (記載ページは修正後のページです。)
1	国際化に関する項目は網羅されているが、「市民を対象にした国際理解」、「外国人を対象にした安心して暮らせるまちづくり」、「姉妹都市との交流」の3つの施策のうち、宇都宮市として何を重点的に推進するかを明確にする必要がある。外国人へのフォローが十分でないと感じるため、疎外されている外国人へのアプローチを期待する。	B	本市におきましては、国際化推進にあたり、いずれも重要な項目として取り組んでいるところであります。 ご指摘の外国人住民へのフォローにつきましては、第4章「施策の展開」基本目標I「誰もが暮らしやすい多文化共生の地域づくり」(29～37ページ)におきまして、外国人住民の「相談体制の充実」(主要な事業No.4, 31ページ)や「情報手段の充実」(主要な事業No.9, 32ページ)など、コミュニケーション支援や生活支援に引き続き取り組むとともに、自治会など「地域団体・ボランティア等との連携・支援」(主要な事業No.14, 35ページ)や、外国人住民の「地域事業への参加促進」(主要な事業No.15, 35ページ)などに重点的に取り組んでいくこととしております。
2	外国人の生活基盤の安定が定住化につながる。外国人の就職支援制度の充実が必要である。法的な整備は進んできている。宇都宮大学の国際学部との連携はもっと必要である。	C	本市におきましては、No.1で回答しておりますとおり、外国人住民の生活基盤の安定に向けて、コミュニケーション支援や相談体制の充実など、生活支援に取り組んでおります。 今後、就職支援制度の充実につきましても、ご意見を参考に「情報手段の充実」(主要な事業No.9, 32ページ)などに取り組み、宇都宮大学国際学部など、関係機関との連携を強化してまいります。

② 国際化の推進について(3件)

意見番号	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方 (記載ページは修正後のページです。)
1	<p>国際化を進めるには、外国人との融合が必要であり、外国にルーツを持つ児童生徒や帰国子女に対しては、日本語指導のほかに、友達やその保護者に対してその出身国等の紹介をするなど、その人格、アイデンティティを尊重することが必要である。このような活動に取り組んでいかないと、真の国際化はない。</p>	C	<p>第4章「施策の展開」基本目標Ⅱ「国際理解・国際交流のための環境づくり」(38～43ページ)におきまして、「学校等での国際理解教育の推進」(主要な事業No.25, 40ページ)に取り組んでいくこととしております。</p> <p>また、地域コミュニティセンターなどにおきまして、外国人住民が講師となって自国の文化を紹介するなど「国際理解に関する講座の充実」(主要な事業No.22, 39ページ)に取り組んでおります。</p> <p>ご提案の取組は、国際理解を推進する上で有効と考えられますことから、今後、各種施策事業の推進にあたりまして、参考にしてまいります。</p>
2	<p>国際理解教育の推進には、子どもの時から国際的視野を持たせることが大切であり、小中学校から国際的視野を持たせるような指導を期待する。先生にも国際化意識が必要であり、長期的に取り組むことが必要である。ALTの知識を活用することも必要である。</p>	B	<p>No.1で回答しておりますとおり、本市におきましては「国際理解・国際交流のための環境づくり」を基本目標Ⅱとして掲げ、「学校等での国際理解教育の推進」(主要な事業No.25, 40ページ)として、全市立中学校にALT(外国語指導助手)を配置するとともに、小学1年生から国際感覚を養い、コミュニケーション能力を高める学習に取り組んでおります。</p> <p>今後とも、ご提案のとおり、長期的に取り組んでまいります。</p>
3	<p>宇都宮市の国際化は、姉妹都市交流を通じた官民挙げての国際交流からスタートし、外国人の来宇に備えて都市環境の国際化、道路標識や案内などの実現を課題として、多くの外国人観光客や留学生の受入れのため、ボランティア通訳の養成やホストファミリー制度の創設、市民のための英会話教室を開設した。</p> <p>時代は移り、外国人が多く移り住むようになり、国際交流より外国人との共生が市の課題となったようであるが、国際化への期待と実現に向けての課題はますます大きくなっている。</p> <p>原点に立ち返って、これからの5年間、国際化推進のためには国際交流も大切であることを示してほしい。</p>	A	<p>外国人住民の定住化が進む中、多文化共生社会の実現がこれまで以上に求められているとともに、経済活動のグローバル化や高度情報化が進み、市民主体の国際交流の促進や、国際感覚を持つ人材を育成していくこともより一層重要になってきていると認識しております。</p> <p>そのため、③No.1で回答しておりますとおり、本市におきましては、国際化の推進にあたり、「多文化共生社会の実現」「国際理解・国際交流の促進」いずれも重要な項目として取り組んでまいります。</p> <p>また、姉妹都市等との交流は、④No.2で回答しておりますとおり、本市の大きな財産であると認識しておりますことから、第4章「施策の展開」基本目標Ⅱ「国際理解・国際交流のための環境づくり」施策の方向2「国際交流の促進」取り組むべき施策1「互恵性ある国際交流の促進」(41ページ)に、下線部のとおり追記します。</p> <p><u>本市には、3つの姉妹都市(1982年提携オークランド市:ニュージーランド、1989年提携オルレアン市:フランス共和国、1992年提携タルサ市:アメリカ合衆国)と友好都市(1984年提携チチハル市:中華人民共和国)、文化友好都市(1995年提携ピエトラサンタ市:イタリア共和国)があり、様々な分野で交流を行っています。</u></p>

③ 国際都市について(6件)

意見 番号	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方 (記載ページは修正後のページです。)
1	<p>「国際化推進計画」の名称であるが、外国人住民に対するアンケートを基にしており、多文化共生の推進計画に感じた。多文化共生と国際化は次元が異なると思う。</p> <p>国際化を目指すことは、国際都市を目指すことではないか。多文化共生は国際都市の一つの条件であり、外国人に開かれたまち、諸外国から多くの観光客やビジネスマンが年間を通して訪れるまち、世界に進出している多くの商社や企業が立地しているまち、市民の外国に関心が深く、姉妹都市交流をはじめ諸外国と国際交流が活発に行われているまちが国際都市ではないか。</p> <p>外国人住民が住みやすいまちづくりだけを指すのではなく、世界から国際都市と評されるまちづくりの推進計画としてほしい。</p>	B	<p>第3章「計画の基本的な考え方」(19～28ページ)に記載しておりますとおり、国際化の推進にあたり、「多文化共生社会の実現」「国際理解・国際交流の促進」のいずれも重要な項目として取り組んでいるところであります。</p> <p>国際都市につきましては、「市民主体の国際交流、国際協力が活発に行われ、人・モノ・情報が活発に行きかう都市」「利便性の高い都市環境や国際感覚豊かな人材など、国際化にふさわしい機能を備えた都市」(19ページ)としております。また、第4章「施策の展開」基本目標Ⅲ「国際化にふさわしい都市機能の充実」(44～50ページ)におきまして、国際都市の実現を目指して「分かりやすいサイン・表記の推進」(主要な事業No.33, 45ページ)や「各種情報の多言語化の推進」(主要な事業No.34, 46ページ)、「国際感覚を持ち、世界的な視野で活躍できる人材の育成」(主要な事業No.41, 48ページ)などに取り組んでいくこととしております。</p>
2	<p>国際化を目指すのであれば、オリンピックやラグビーワールドカップで世界から多くの来日が予想されることを視野に入れ、その機会に宇都宮を訪れてもらうためのイベントを企画実現してほしい。</p> <p>例として餃子、ジャズ、カクテル、自転車、イチゴに加え、周辺には日光や益子、那須など自然環境にも恵まれた素晴らしさを世界にPRするため、近隣市町と連携した施策事業を企画してほしい。</p> <p>多くの外国人観光客が訪れる国際都市宇都宮を目指してほしい。</p>	B	<p>本計画におきましては、交流人口の増加や活性化につながる「コンベンションの誘致」(主要な事業No.36, 46ページ)や本市の地域資源や都市の魅力など「海外への情報発信の充実」(主要な事業No.37, 46ページ)に取り組み、国内はもとより海外からも選ばれるまちづくりを目指しております。</p> <p>今後とも、自転車や自然環境など本市の恵まれた資源を活用して、国際都市宇都宮を目指してまいります。</p>
3	<p>全国に誇れる2,000名収容の文化会館を活用し、世界からの参加者を募ったフェスティバルやコンクールを開催することで、国際化推進の大きなインパクトになる。福岡や琵琶湖、軽井沢などのフェスティバルや浜松市の国際ピアノコンクールなどは見本になる。</p> <p>素晴らしいロケーションの中に立つ宇都宮美術館や東京から近い地の利を生かしたイベントも世界からのお客さんと呼べる。</p> <p>ろまんちっく村もテレビで広く紹介されている。LRTも交通渋滞解消だけでなく、国際都市としてのステータスとしても期待する。</p>	C	<p>No.2で回答しておりますとおり、本計画におきましては、交流人口の増加や活性化につながる「コンベンションの誘致」や本市の地域資源や都市の魅力など「海外への情報発信の充実」を主要な事業に位置づけ、国内はもとより海外からも選ばれるまちづくりを目指しております。</p> <p>今後、各種施策事業の推進にあたりましては、ご意見を参考に取り組んでまいります。</p>

意見 番号	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方 (記載ページは修正後のページです。)
4	2020年オリンピック・パラリンピックに向けて、東京が変容する。近隣都県（特に北関東）・県内自治体と連携して、外国人にも分かりやすい交通サイン（自転車道路の整備に合わせた表示を含む。）を設置したい。	B	<p>今後、外国人に分かりやすい交通サインは、より一層重要になると認識しております。</p> <p>本市におきましては、本市に生活する人にも訪れる人にも分かりやすい、ピクトグラム（単純化した絵文字）やルビを用いた「分かりやすいサイン・表記の推進」（主要な事業No.33, 45ページ）に取り組んでおり、今後も引き続き取り組んでまいります。</p> <p>また、やさしい日本語や多言語による観光パンフレットなど「各種情報の多言語化の推進」（主要な事業No.34, 46ページ）を重点事業として位置付けるとともに、「善意通訳者団体との連携」（主要な事業No.35, 46ページ）による外国人観光客の案内などに取り組み、訪れる外国人にとって利便性の高い都市環境の充実を目指してまいります。</p>
5	宇都宮市は、空港から、東京から新幹線・東北自動車道のほか、北関東自動車道によるスカイコリドール（回廊）がある。日光市に通じるゲートシティとして、利用価値の高い多言語による観光ルートのハードとソフトの基地にしたい。	B	<p>No.4で回答しておりますとおり、本市におきましては、「分かりやすいサイン・表記の推進」や「各種情報の多言語化の推進」などに取り組んでおります。</p> <p>また、No.2で回答しておりますとおり、「コンベンションの誘致」や「海外への情報発信の充実」などに取り組んでおります。</p> <p>恵まれた立地環境を活かして、海外からも選ばれる都市を目指して、今後とも取り組んでまいります。</p>
6	市街地のホテルや観光施設・滞在型治療施設などにおいて、ハラル食などを組み入れ、世界遺産の和食で「おもてなし」などのサービスを提供することができる。	C	<p>ハラル食など、多様な異なる宗教や文化への理解を持ち、尊重することは、今後一層重要になると認識しております。また、世界遺産に認定された和食での日本ならではの「おもてなし」は、国際都市としての魅力の向上に大きく資するものと認識しております。</p> <p>今後、多文化共生の地域づくりや、国際理解・国際交流の促進など、各種施策事業の推進にあたりましては、イスラム圏など多様な国（文化）を紹介していくなど、ご意見を参考に取り組んでまいります。</p>

④ 姉妹都市について(5件)

意見 番号	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方 (記載ページは修正後のページです。)
1	姉妹都市交流については、市が主体となって進めていく必要があるのではないかと。	B	姉妹・文化友好都市との交流におきましては、青少年の相互派遣などの交流は市が主体となり実施しており、その後の交流などにつきましては、市民が主体の交流を基本としております。 「姉妹都市との交流」(主要な事業No.26, 41ページ), 「テーマを持った交流の促進」(主要な事業No.27, 41ページ) など交流の活性化促進につきましても、今後とも積極的に進めてまいります。
2	国際化のためには、これまで提携してきた姉妹都市との交流を活用してほしい。民間交流の支援をするだけでなく、市が機会と場を提供することが大切であり、必要である。	B	本市の国際化の推進にあたりましては、海外5つの姉妹(友好)都市、文化友好都市との交流は大きな財産であると認識しており、No.1で回答しておりますとおり、今後とも、青少年の相互派遣事業などに積極的に取り組んでまいります。
3	今年のタルサ市への中学生派遣は定員を大きく上回る応募があった。世界に目を向ける若者は大勢いる。若い時の体験は将来の選択に大きく影響する。 若者の期待に応える施策をもっと掲げてほしい。文化やスポーツの分野でも、多くの機会を設けてほしい。	C	世界に目を向ける青少年が多いことは大変喜ばしいことであり、ご意見のとおり、多感な時期に、海外の文化や習慣に触れることは、将来の宇都宮市を担う国際感覚豊かな人材の育成につながるものと認識しております。 今後は、姉妹都市等からの訪問団の受入に際して、より多くの市民と交流ができるよう、ホームステイの拡大などに取り組み、各種施策事業の推進にあたりまして、ご意見を参考にに取り組んでまいります。
4	エスペール賞の受賞者など、世界で活躍している市民の方は沢山いらっしゃる。このような頑張っている方が姉妹都市等でデビューし活躍できるような奨励制度があれば、もっと活気ある宇都宮になると期待する。	C	本計画におきましては、世界で活躍されている市民の方との連携を図ることで、国際交流や本市の魅力発信の機会を充実するため、「海外で活躍する市民との連携」(主要な事業No.29, 42ページ)を重点事業として位置づけております。 また、「国際感覚豊かな人材が活躍できる機会の充実」(主要な事業No.39, 47ページ)を拡充事業として位置づけており、今後、各種施策事業の推進にあたりましては、ご意見を参考にに取り組んでまいります。
5	これまでの本市の姉妹・文化友好都市交流は欧米文化圏と中国に限定されているが、将来的なグローバル化に対応した多文化共生社会の実現のためには、東南アジア諸国やイスラム圏の都市との交流も必要になる。そのため、それらの国々の都市とも姉妹・文化友好都市の締結を図り、交流していくことが重要になるので、検討してほしい。	C	新たな姉妹・文化友好都市提携につきましては、市民相互の交流と機運の盛り上がりがあって検討することとしておりますが、ご意見のとおり、世界には多くの国々があり、それぞれに習慣、文化、宗教など大きく異なっていることから、東南アジア諸国やイスラム圏の人々と地域社会で共生するうえでは、それらの人々とも相互に理解しあうことが重要であると認識しております。 今後、多文化共生の地域づくりや、国際理解・国際交流の促進など、各種施策事業の推進にあたりましては、欧米文化圏や中国に限らず、多様な国(文化)があることを紹介していくなど、ご意見を参考にに取り組んでまいります。

⑤ 民間団体について(6件)

意見 番号	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方 (記載ページは修正後のページです。)
1	宇都宮市国際交流協会は中核的組織とされているが、中核的組織として扱われていないと感じる。市と協会が定期的に話し合うなど、中核的組織としての機能を果たせる形にする努力が必要である。	B	第3章「計画の基本的な考え方」6多様な主体に期待される役割(27ページ)に記載しておりますとおり、宇都宮市国際交流協会は、中核的団体として本市の国際化推進に重要な役割を担っていると認識しております。今後、計画の推進にあたりましては、連携・協力が一層重要になりますことから、今後とも協会の活動への支援を行うとともに、情報共有に努めてまいります。
2	各種地域活動協議会と自治会組織との協働には、私どもNPO法人宇都宮市国際交流協会の会員のグループ組織も、ボランティアとして参加・情報提供できるようにしたい。	E	多文化共生の地域社会の実現にあたりまして、各種地域活動協議会や自治会等との協働は大変重要であると認識しております。 市国際交流協会の会員のグループ組織の皆様、ボランティアとしての参加や情報提供は、各団体のネットワーク形成にもつながり、ご協力に感謝申し上げます。
3	国際交流プラザでのポットラックパーティーの今後の展開も含めて発展させたい。	C	本市におきましては、国際交流プラザを拠点とした「外国人の居場所の充実」(主要な事業No.7, 32ページ)に取り組んでおります。また、第2次計画では、「国際感覚豊かな人材が活躍できる機会の充実」(主要な事業No.39, 47ページ)を重点拡充事業として位置付け、今後、国際交流プラザでの交流会の充実を図ってまいります。 市国際交流協会主催のポットラックパーティーにつきましても、今後の発展が居場所の充実や人材が活躍できる機会の充実などにつながると認識しており、ご協力に感謝申し上げます。
4	善意通訳者団体(USGG)の活動に対し、日光市では、ボランティア一人に対して、一日3,500円が支給されている。JR宇都宮駅では駐車場料金がかかることから、交通費程度出してくれれば、平日も参加したいという意欲のある人を増やしていける。	C	善意通訳者による外国人観光客へのボランティア通訳ガイドの活動は、本市を訪れる外国人の利便性の向上に資するものであり、分かりやすい情報の提供など、国際都市としての環境の充実につながるものと認識しております。 今後とも、市民交流活動推進補助金や情報提供など、「民間団体の支援」(主要な事業No.31, 42ページ)を通じ、団体の活動がしやすい環境づくりに努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。
5	善意通訳者団体(USGG)の会員が、自らが教える高校の生徒にも活動を紹介し、生徒の将来の進路にもつながっている。 教育委員会でも団体の活動を見に来て、英語の教師が中心となって夏休みに生徒たちを活動に参加させるなど、団体の活動に先生が興味を持ってほしい。	C	善意通訳者による外国人観光客へのボランティア通訳ガイドの活動は、青少年が豊かな国際感覚を身につけるうえでも、大変効果があるものと認識しております。 今後、各種施策事業の推進にあたりましては、市内で活動されている各団体の活動内容の紹介などにも努めてまいります。

意見番号	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方 (記載ページは修正後のページです。)
6	施策事業の具現化には、市民活動組織の充実が必要である。	B	第5章「計画の推進に向けて」(51ページ)に記載しておりますとおり、施策事業の具現化、国際化の推進にあたりましては、市民、民間団体、行政など、各主体がそれぞれの役割を担い、互いに連携して協働により取り組むことが必要であると認識しております。 また、市民が主体となった国際交流を促進するため、拠点施設である国際交流プラザの機能充実や、ボランティア活動の支援などにより「民間団体の支援」(主要な事業No.31, 42ページ)を積極的に行ってまいります。

⑥ 計画の進行管理について(1件)

意見番号	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方 (記載ページは修正後のページです。)
1	計画の進行管理は重要なことなので、しっかりと行ってほしい。	B	本計画の進行管理につきましては、第5章「計画の推進に向けて」(51ページ)に記載しておりますとおり、庁内関係部署からなる「国際化推進委員会」において進捗や課題の検討を行うとともに、中間年次に進捗状況を公表いたします。